

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第826号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日—令和8年(2026年)11月1日
●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

第71回全道大会・第32回本人大会(登別大会)

700人が「みんなで手をつなぐ」の思いを発信

9月26日(土)、登別市民会館などを会場に、第71回全道大会および第32回本人大会が開催されました。北は上川地区、オホーツク地区、東は釧路地区、南は渡島地区から、文字通り全道各地から、登別に関係者が集まりました。

参加者は、育成会大会233名、本人大会311名(分科会106名・チャレンジド80名・思い出観光125名)、スタッフ・ボランティア60名、公開プログラム50名、講師・発表者・来賓など37名の合計691名でした。

開会式



佐藤会長

開会に際し、佐藤会長より「育成会が設立された70年前は、障がい者に対する差別や偏見が現代とは比べ物にならない時代で、福祉施設も山奥に建設するしかなかったが、それから70年たち、特別支援学級が全ての市町村に設置され、障がい者施設も街中にできるようになりました。親と支援者のためみない努力が、障がい者施策を大きく前進させてきたのだと思います。一方、障がい者の虐待は、

毎年のように報道されています。今年も釧路市にある障がい者支援施設の職員が入所者に暴行を行ったとして逮捕されました。10年前、19人もの障がい者が殺された戦後最悪の津久井やまゆり園事件がありました。毎年そのことが語られ、同様の事件が起きないように、日本中で事件を伝える集会などが取り組まれていきます。それでも虐待が繰り返されています。あの事件が日本の中できちんと解決したのか、何が教訓なのかをこれからも考えていかなければならないと思います。恵庭の遠藤牧場事件では、未だに当事者間、そして恵庭市との間で裁判が続いています。何十年にもわたり、障がい者福祉の名のもとに経済的・肉体的な搾取を受けていました。これも本人の会でお互いに話をしていく中で進んでいます。新しい会員を迎えて、障がい者にとって、健常者にとっても暮らしやすい社会を目指して進んでいきたいと思っています。」と述べました。



登別市長

続いて、ご来賓を代表して北海道胆振総合振興局長牧野充様、登別市長小笠原

春一様からご祝辞を頂きました。その後、会長表彰が行われました。表彰された皆様は次の方々です。

●北海道善行賞(道育成会推薦分)

●自立活動者

福士 忍さん(名寄市)

●自立支援功労者

三浦 幸三さん(室蘭市)

●道育成会会長表彰

●自立活動者

大矢 和子さん(石狩市)

高橋 治さん(苫小牧市)

古沢 和行さん(新ひだか町)

石川 江美子さん(新ひだか町)

伊藤 尚毅さん(札幌市)

吉田 文枝さん(名寄市)

渡辺 久美子さん(名寄市)

濱田 智子さん(登別市)

●自立支援功労者

坂上 純子さん(苫小牧市)

吉野 良子さん(登別市)

小関 朋恵さん(豊頃町)

植村 雅美さん(豊頃町)

安藤 はるみさん(深川市)



中央情勢報告



全育連佐々木会長

開会式に引き続き、全国手をつなぐ育成会連合会佐々木桃子会長から中央情勢報告が行われました。新たな成年後見制度の概要と今後の課題と要望、令和9年度の障害福祉サービス報酬改定への要望、全育連としての取り組みについてなど、最新的情勢を報告していただきました。

分科会

今年度は、学齢期子どものいる親・家族、学校の教員にも広く参加をしておうと、「発達・教育・地域で支えるこれからの子育て支援（幼児期・学齢期）」の分科会を設け、一般公開をしました。その他、「自分らしく地域で豊かに暮らす（成人期）」、「シニア世代の暮らし（高齢期）」、「新時代の育成会活動」の4つの分科会を開催しました。詳細は、次号12月号でお伝えします。



記念講演



戸田竜也氏

北海道教育大学釧路校准教授の戸田竜也氏を講師として、「発達障害と思われる人たちの生きづらさを理解する―本人・家族の声に耳

を傾けて」をテーマに約1時間の講演をしていただきました。スクールカウンセラー、元きょうだい児としての経験も踏まえながら、本人や家族の発する「声」に着目し、その背景にある「生きづらさ」や「ねがい」について、事例を通して解説いただきました。まず、「声」とは、「音声などの言語だけではなく、表情や行動などの中にある、他者に伝えたいこと、一人ひとりの内面にある願いや悩み、葛藤、感情などの声に耳を傾ける必要がある」とし、「教師や支援者は子どもの声にどれだけ注意を払い、耳を傾けてきたか」と問題提起しました。子どもたちから語られる話を聞くと、「知的障害のある青年たちが、小・中学校段階で、学校以外の放デイ等の生活も含めて、何らかの傷つき体験を持っており、その体験は、本人にとってとても大きな、その時では終わらない、高校段階にまで影響を及ぼすような傷となっている」と指摘しました。また、援助要請ができることの大切さについて、文科省の「生徒指導提要」も引きながら、「社会的自立は、依存しないことや支援を受けないということではなく、適切に他者に依存したり、自らが必要な支援を求めたりしながら、社会の中で自己実現をしていくという意味である」ことを強調しました。

最後に、「生きづらさとは、自らが『こうりたい』『こうだったらいいな…』という願いと実際の生活との間に矛盾が生じたときに顕在化する」「一人ひとりの生きづらさを理解するために、子どもの『声』に耳を傾けることを大切にしたい」「自分のことが理解されない、わ

かってもらえないことが生きづらさにつながる」とまとめ、「発達障害と思われる人の生きづらさ」と向き合うために、『理解したい』『わかりたい』という願いをもって、関わり続ける存在として近くにありたい」と強調しました。

本人大会分科会



本人大会全体会

今年度は、「虐待・人権」、「仕事・暮らし」、「趣味・健康（高齢化・介護）」の3分科会で行われました。「仕事・暮らし」の分科会のみ、オンライン併用で発表、討議が行われました。3つの分科会で合計7人がレポート発表をしました。分科会のあと、全体会で分科会の様子を交流したあと、災害についての発表と意見交流をし、その後防災クイズを行って学びました。分科会・全体会の詳細については、次号以降でお伝えします。

チャレンジ

80名が参加しました。午前中は登別市民会館で音楽ボランティアAudience（アンダンテ）のコンサート。午後は、鉄南ふれあいセンターにバスで移動し、演劇及び文化創造集団C.A.W（カウ）の演劇鑑賞をしました。「プレーメンの音楽隊」、「幸福の王子」のなじみの演目。演劇の中に参加して、王子に羽をつけ、一緒に楽しんでました。



感想の発表（閉会式にて）

思い出観光

125名がバス4台に分乗して、登別伊達時代村に行き、5時間余りを過ごしました。江戸時代の街並みやアトラクションを楽しみ、昼食は「とりうどん蒸し」を楽しみました。ご飯のお替りもでき、お腹一杯。秋の一日を存分に楽しんで過ごしました。

閉会式



長江会長 東田実行委員長

陸子会長が「これまでに皆さんがつないでくれた想いを私たち札幌が受け取ります。そして、次へつないでいく大会にしたいと思えます」と挨拶があり、閉会しました。



決議文の発表

実行委員長の東田美智子登別市手をつなぐ育成会会長が、大会決議(案)を提案し、満場の拍手で採択されました。その後、本人大会決議文を14本人会15名の皆さんで読み上げました。最後に、次期開催地の札幌市手をつなぐ育成会の長江

懇親会

大会終了後、市民会館の中ホールでケータリングによる懇親会が開催されました。テーブルや椅子のセッティングは登別市連合町内会のみなさまに担当していただきました。約170名が参加し、1年ぶりの再会を喜び合い、懇親を深めました。登別市伝統の熊舞から始まり、東田実行委員長の元氣いっぱいの乾杯、みんなで輪になって踊った鬼踊り、各事業所の製品を商品としたビンゴゲームなどであつという間の2時間でした。最後は、この大会を機に発足した登別市手をつなぐ育成会本人部会「ハーモニー登別」のメンバー全員がステージに上がりあいさつ。打矢会長の三本締めで終わりました。



熊舞



鬼踊り



ビンゴゲーム(打矢さん(右)と山田さん)



かんぱ〜い!(東田実行委員長)

全道大会での熊本地震義援金募金

全道大会で「令和8年度熊本地震」義援金募金箱を設置しました。みなさまのご協力により、1万円の募金が集まりました。全育連を通して、被災地の会員・事業所にお届けいたします。また、引き続き12月いっぱい募金を受け付けていますので、ご協力をお願いいたします。

【義援金受付口座】

北洋銀行 道庁支店
普通預金 3183166
一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

販売中!

いっせいかいカレンダー2027

来年度も壁かけ、卓上ともに素敵なカレンダーが出来上がりました。2027年の始まりを「いっせいかいカレンダー」とともに迎えてみませんか。11月いっぱい申し込みを受け付けていますので、ぜひ、多くの方にお買い求めいただきたいと思えます。

【お申込み】

各市町村育成会にお問い合わせください。または、『げっぼう9月号』、道育成会ホームページに掲載の申込用紙を道育成会に直接お送りください。

12月の予定

7日(月) 第3回理事会
16日(水) ブロック事務局長・活性化対策委員会
同会議

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約17万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2025年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金 ※プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

ご入会のお問合せはこちら

北海道生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2026年1月現在の内容です。(D-008145 2026-12)

障害のある方向け 総合保険

あ！それうちかと思った方！

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガを
させてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんの
メガネを壊してしまった

ぜんちの あんしん保険

障害のある方とご家族へ
少額短期健康総合保険(無告知型) 2019年創設

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償
責任を補償(国内は東京海上日動の示談交
渉サービス付き)

ぜんちの こども傷害保険

特別支援教育を
必要とされている方へ
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされて
いるお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償
責任を補償(国内は東京海上日動の示談交
渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

25TX-004122(2025年11月作成) 2012-2510R00

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)



ぜんち共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5

関東財務局長(少額短期保険)第14号 九段北325ビル4階

平日9時～17時

土日・祝日・年末年始を除く

URL: https://www.z-kyosai.com/

0120-322-150

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したもので
す。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」
東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みくださ
い。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社ま
でお問い合わせください。補償を受けられる方またはそ
の家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約され
ているときには、補償が重複することがあります。

060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地

札幌セントラルビル2階

有限会社オフィスブレイン

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 障がい者就労支援の会
あかり家

〒060-0063 札幌市中央区南3条西10丁目
福山南三条ビル7階

★就労移行支援／就労継続支援B型／定着支援／選択支援

★主な作業

☆名刺

横断幕

チラシ作成

☆Web制作

データ入力

書類のpdf化

☆封入等の軽

作業など

ど



今年度の目標は「個性が輝く、笑顔あふれる事業所」です